

## 【建築・電気科2年 建築コース】 実習 トラバース（多辺）測量



令和3年8月末より、建築・電気科2年建築コースで、トラバース（多辺）測量の基礎実習を行っています。

トラバース測量とは、ある一点から順番に測量して得られた測点を結合して折れ線を作り、各辺の長さや方位角（北を基準として各辺がどの向きを示しているかを表す角度）を求めることにより、各点の位置を定める測量方法です。

「すでにある基準点」から「新しい基準点」を作る時に行う手段としてトラバース測量が用いられます。実習では、トータルステーション測量機器を使って、生徒たちは学習しています。